

パブリックコメント実施結果

平成23年3月

パブリックコメントの要点整理

3月4日までにいただいたパブリックコメントの意見への対応をまとめた。

(1) バス停新設、新規乗り入れやルートに関する意見への対応

- ・やまばと号・・・運行中心を従来とおなじ役場中心とすべき。

【対応】 現在の利用状況から考え、生活利便施設が集中するレスポアール中心に運行することとした。

(2) ダイヤに関する主な意見への対応

- ・西鉄バス・・・篠栗駅との接続強化を図るべき

【対応】 西鉄バスの新たな運行ダイヤについては篠栗駅乗り換え時間も考慮した接続ダイヤとしている。

(3) 運賃に関する主な意見への対応

- ・やまばと号を有料化すべきとの意見をいただいた。

【対応】 町内を運行する路線バスとの運賃も考慮して、今後有償で運行することを検討する。

(4) その他意見への対応

- ・公共交通総合連携計画と観光・地域振興を連動させて計画すべき

【対応】 今後は総合計画等の他の上位計画との連携も含めて検討する。

- ・バス乗降調査、路線バスへの運行補助等詳細な資料を記載すべき

【対応】 運行の実態が伝わるよう詳細な図表を追加

パブリックコメントの個別意見とその対応を次頁以降に示す。

番号	地区名	意見	対応	連携計画における修正事項
1.	山田	<p>久山町公共交通総合連携計画は、住民生活と久山町人口状態が考察される。</p> <p>1. 高齢化・少子化社会は日本の経済・財政・教育・産業等に大きな課題を生じている。</p> <p>2. 人口問題は結婚して子供の数が増え、維持できるようにする大人成人の役割がある。</p> <p>3. 実証運行のバス路線再編は検討される。</p> <p>西鉄バス27B復乗運行、乗り継ぎ拠点、やまばと号運行ダイヤ見直しがされている。山田小学校等文京区観点から、「上山田南」を「山田小学校前」に乗り継ぎ拠点変更が必要である。</p> <p>やまばと号は、高齢者等住民が久山町役場利用目的が多くなることを鑑み、久山町役場中心運行が必要である。</p> <p>文化、歴史、郷土づくりの観点から、猪野赤坂(新設)～天野～山田小学校前巡回運行と、西鉄バス等の猪野、山田小学校前、上山田、下山田～博多駅～天神方面土日祝直行運行はまちづくり活性化、観光化に役立つという意見がある。</p>	<p>朝夕等西鉄バス27Bの、猪野方面へ復乗運行しない一部の便が、猪野方面行きと接続するための乗り継ぎ拠点として「上山田南」バス停を設定しております。そのため、復乗しない一部便が「山田小学校前」を通りませんので乗り継ぎ拠点を「上山田南」と致しております。</p> <p>やまばと号のレスポアル中心の運行は、現在の利用者の利用動向を鑑み、買い物や通院の利便性向上を目的に変更するものです。久山町役場は今後も経過いたしますので、ご理解頂ますようお願い致します。</p>	
	久原	<p>1. 総論</p> <p>まず、町内の交通網の再整備という、住民全体の生活行動に影響を与えうる重要な計画を立てるに当たって、HP上での意見募集だけではなく、地域住民への説明会等を行うべきではないか。</p> <p>次に、地域の交通網についての現状と課題、対応策について、ある程度よくまとめられていると思うが、地域の「観光」による交通網開拓の側面、つまり、「他地域に対してどのように久山町を発信し、どのような交通体系で他地域からお客を取り込むか」という視点に欠けているように思われる。(後述の各論 参照)このような視点に立てば、冒頭で問題として掲げられている高齢化人口の増加、町全体の人口減少に対する対応策(市外から人を呼び寄せることで人口減少に対応する)も導き出せると思われる。もっとも、その際に環境破壊等の問題については別途検討する必要がある。</p>	<p>今回のパブリックコメントの実施に当たっては、HPによる閲覧と役場での縦覧を1ヶ月間行いました。</p> <p>公共交通総合連携計画の策定は地域の公共交通を体系的に再編することを目的としているものですが、ご指摘の通り、その結果として地域振興にどのようにつなげていくかも重要です。その点については現在策定中の総合計画とも連携した対応を行っていく予定です。</p>	

番号	地区名	意見	対応	連携計画における修正事項
2.	久原	<p>2.各論：観光側面について 人口減少下の状況で、今後段階的にバスを有料化したとしても、乗客が下降線をたどれば必ず財政難の問題に行き当たる。地域の「観光」による交通網開拓の側面、つまり、「他地域に対してどのように久山町を発信し、どのような交通体系で他地域からお客を取り込むか」という視点に立った分析を盛りこんで頂きたい。 そもそも久山になんの観光資源があるのかという問題だが、久山には、(トリアスを別として)ハコモノ観光資源は少ないが、住環境に目を向けると、豊かな自然環境、農業が可能な土地(週末ファーマーの取り込み)等、外部に発信可能な地域資源はたくさん存在する。例えば、蛍の見頃の時期にいの付近は毎晩車がひっきりなしに訪れ、周辺環境への悪影響心配されるが、CO2低排出の「ホテルバス」のようなものを最寄り駅等から回遊させれば、観光客を獲得できる上、環境にも優しいエコな町としての評判も上がるのではないかと。 また、このような観光進行の視点を他の総合計画等で取り入れられるのであれば、本計画との結びつけ、連携を図って頂きたい。</p>	<p>やまばと号はじめとする町内の公共交通機関の今後の持続的な運行を目指し、久山町が持つ豊かな自然の保全と公共交通を使った「エコライフ」を連携計画の実践においてもPRしていきたいと思えます。その中で、町の魅力・資源を再認識させ、地域振興に結びつけていきたいと思えますので、引き続きご協力をお願い致します。 「ホテルバス」等バスを利用したイベント開催については今後の実証運行において検討していきたいと思えます。</p>	
	久原	<p>3.各論 篠栗駅におけるJRと西鉄バスとの接続について 計画案の中に、篠栗駅における西鉄バスとの接続問題の解消に向けた記載は何度か登場するが、21ページの「目標を達成するために行う事業」の中に接続問題の解消に向けた事業は見受けられない。きっちりと盛り込むべきではないか。 また、現状では、JR篠栗線は単線であるため、4～5分遅延することもしばしばあるが、西鉄バスの運転しに(当然なのかもしれないが)全く接続に配慮する心構えはない(実際2、3分待ってもらえば間に合うケースでも、バスが定刻通り発車してしまい、接続できないケースを私もよく見かけます。一度運転士さんに言ったのですが「定時に発車するだけだ」という答えでした)頻繁に出入りするバスならともかく、地域の足を担うバスなので、西鉄バス側にJRが遅れた場合に接続に配慮するよう要望できないか(例えば「お乗換えバス」といったような地域に優しいバスというような西鉄の特別バス名称・サービスしてもらう等)。</p>	<p>今回の連携計画の中で、篠栗駅におけるJRとバスの結節については、広域交通を担う拠点として重要視しております。西鉄バスの新たなダイヤでは、篠栗駅におけるJRとの接続に配慮したダイヤとして事業者より改善提案をいただいております。 乗り継ぎに配慮したバスの名称についてのご提案ありがとうございました。</p>	
	久原	<p>4.：JR九州バスの補助額 8ページにJR九州バスへは国・県による補助、とあるが、住民に相場観を与えるため、差し支えなければ(オープンにされている数字と思われるが)金額を記載頂きたい。</p>	<p>JR九州バスの運行補助額については、国・県が負担している補助であり、記載による誤解を招くおそれがあることから記載を控えさせていただきます。</p>	

番号	地区名	意見	対応	連携計画における修正事項
	久原	5. :新バス車両購入について 取得に必要となる費用や、採算の試算についての説明がない。案段階で構わないので提示する必要があるのではないか。	現時点で購入の詳細な仕様などが決定しておりませんので、費用の提示ができる段階にありません。 検討にあたっては、久山町独自の、バスを利用したくなるようなデザインを検討して参ります。	
	久原	6.各論 :西鉄バスの新運行ルート提案について 新運行ルートでは、猪野を通ることになり、27Bの路線が従来より時間がかかることになりそうだが、朝夕の通勤時は猪野を通らない便を出す等、乗車時間がこれまで以上に長くないように配慮頂きたい。	朝夕の一部便につきましては、猪野を経由しない便も運行する計画としております。	
	久原	7.各論 :やまばと号の周知について やまばと号について、コストをかけて非常に重要な町内の足を担っているにもかかわらず、町内の一般住民に十分周知がなされているのかわからない。(私は運行ルートや時間を知りませんでした)関係機関と連携したより一層の周知が必要ではないか。	やまばと号を含めた、町内の公共交通機関の路線図や時刻表は住民の皆様へ広報紙などを通じてお渡しし、積極的な利用を呼びかけによる認知度向上を目指してまいります。	
3.	久原	1.西鉄バス72番の猪野乗り入れが廃止されると、猪野は過疎化する。JRや西鉄バスが通っていることは一つのステータスみたいなもので、それらもない地域となれば、これから新たに住みたいと思う人達は皆無となるだろう。その点からもシャトルバスでなく、今回検討されている「複乗」案に大賛成である。往復8分についてはほとんど問題ないと思われるが、JRへの乗り継ぎについては、西鉄バスへ、ダイヤの検討もお願いしてほしい。	ご意見ありがとうございます。西鉄バスの新たなダイヤは、篠栗駅におけるJRとの接続に配慮したダイヤとして検討をしております。	
	久原	2.「やまばと号」について 「やまばと号」は小早川町長時代にスタートし、長年町民に親しまれてきましたが、最近は福祉バスのほとんどお年寄りしか利用されていません。料金を払ってもらい、若い人達にも利便性のよいコミュニティバスとなるように、名称も一般公募して命名し、やまばと号のイメージを一掃しなければならないと思います。有料化については、受益者負担の観点から利用者から徴収する。往復券、回数券、定期を導入し、リピーターの確保を図る。また、料金については、コミュニティバスがJRへ横付けできず、西鉄バスやJRバスへの乗り換えとなるので連携した料金など配慮が必要と考えます。	「やまばと号」の有料化については、今後検討を行っていきたくと思います。名称の公募に関しては、利用者への認知度やイメージ向上を目指し、新たなバス車両の導入などと総合的に考慮し検討してまいります。	

番号	地区名	意見	対応	連携計画における修正事項
	久原	3.P18目標3公共交通の利用促進に向けたバス車両・施設の整備 JRと西鉄バスとの乗り継ぎ時間がマッチしていない、お年寄りが陸橋を渡ってバス停へ到着できる、余裕を持った出発時間設定を西鉄バスにお願いしたい。 更に、篠栗駅北側周辺環境整備に向けた取り組みを検討していくとあるが、町としてJR側へ積極的にお願いして欲しいと考えます。	鉄バスの新たなダイヤは、篠栗駅におけるJRとの接続に配慮したダイヤとして検討をしております。 篠栗駅北側改札口の整備につきましては、引き続き関係者協議を推進して参ります。	
4.	久原	・運行ルート拝見しました。新設バス停のルートですが、多少無理ではないかと思われる箇所があります。 月見ヶ丘 中まで入らずに、保育園の駐車場あたりに設置してはどうでしょうか。 猪野北 道路が狭くて離合が難しいと思われます。また、上久原の山の神に設置しない理由は何ですか。利用される方もいらっしゃると思います。レスポアールを起点にということですが、日報の管理等はどうされるおつもりですか。 長寿園から古賀橋に変更したのは正解だと思います。	月見ヶ丘につきましては、ご意見のとおり内部までの乗り入れは難しいと判断いたしましたので、保育園前にバス停を設置致します。 猪野北に関しては、離合が困難な経路ではありますが、猪野バス停まで距離があることから、乗り入れを検討致しております。 レスポアール起点に際しまして、今後もバスの運行管理を適切に実施して参ります。	
		以下のとおり意見を申し上げます。 西鉄バス72番系統の廃止について なぜ廃止に至ったのか、検証がされていない。(乗客減による採算性の問題が廃止の大きな要因と思われるが、その背景には山田地区、特に猪野、草場、上山田地区の企業誘致や、住宅開発等活性化が図られておらず、そのため、人口も増えず、乗客減となる遠因があるのではないか。)	西鉄バス72番の廃止については、利用者の減少に伴い西鉄バスの単独運行が困難になってきたことから、今回の公共交通総合連携計画策定を契機に複乗運行に切り替えることを決断いたしました。その結果27Bと72番の双方の乗客が当区間で乗車するため、以前より安定した利用者確保が可能となりました。	

番号	地区名	意見	対応	連携計画における修正事項
5.	山田	<p>現在西鉄バス72番系統を利用している人について 2,2,2(p7)の町内公共交通の運行状況で西鉄バス等の利用状況が調査されているが、西鉄バス72番1日当り利用者数での平日の利用者数が調査されていない。また、調査日<9月2日(木)>の乗客数で11時台の調査がされているが、朝6時台、7時台の乗客を調査すべきである。要は、西鉄バス72番系統で通勤、通学してある人が路線廃止になったときに不便を感じさせない対策が必要であるということです。27B系統はみどり丘団地口で方向を変えるし、現在JR土井駅を利用してある人、多々良、流通センター、原田、箱崎、妙見、千代町を利用してある人が大変お困りになるのではないかと思います。JRバスを利用しろというのなら、JRバス路線までのコミュニティバスの運行やバス時刻表の連結など詳細な情報を提供すべきです。</p>	<p>10月20日に久山町内西鉄バス(27B、72番)の全ダイヤ(始発～終バスまで全バス)乗車調査を実施致しておりますので、そちらの結果と書き換えを致します。 また、72番で流通センター方面をご利用の方へ、分かりやすい乗り継ぎ時刻表の提供に努めます。</p>	P7表2.2の修正
		<p>やまばと号について やまばと号は町内循環バスに変更すべきであり、利用者からは応分の利用料金を徴収すべきです。交通不便地や、高齢者、身体障害者に配慮することはもちろんであるが、通勤、通学者についても配慮すべきです。</p>	<p>「やまばと号」の有料化については、今後検討を行っていきたいと思います。 通勤、通学時間帯の運行は、路線バスとの競合を考慮し運行しないことにいたしました。</p>	
		<p>基幹路線について 上山田南バス停から上山田バス停に至る道路、特に上山田三叉路から上山田バス停まで歩道も無く大型車が通ると歩行者は大変危険である。三叉路から新幹線沿いの道路まで早く道路を新設し、バス路線も新幹線沿いの道路を通るようにする。それに伴いバス停も変更する。このことにより、歩行者の危険も除去され、草場の人達も新幹線沿いにバス停を設置すれば便利になるのではないのでしょうか。</p>	<p>バスの運行に当たっては歩行者の安全性確保を第一に今後も努めて参ります。バス停の移設、道路の新設につきましては住居から離れると利便性が減少することについても考慮し、多くの方が利用できる環境創出に努めて参ります。</p>	